

## PRESS RELEASE

2022.7.1

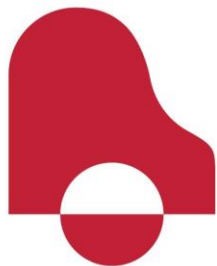
公益財団法人ソニー音楽財団  
(Sony Music Foundation)

# 「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」第4回（2023年度） 募集を開始

音楽を通じた教育活動に最大 300 万円を助成

公益財団法人ソニー音楽財団（所在地：東京都千代田区、理事長：水野 道訓、英文名称：Sony Music Foundation）は、音楽を通じた教育活動に取り組んでいる団体の活動を助成する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」の第4回（2023年度）募集を2022年7月1日（金）より開始いたします。

詳細 URL：<https://www.smf.or.jp/kok/>



## ソニー音楽財団 子ども音楽基金

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ロゴマーク

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」は、子どもたちが音楽を通じた体験や活動に触れることで、感動する心を育てることを目的とした助成事業です。地域・環境・経済状況に左右されることなく音楽に触れることのできる社会を目指し、2019年に設立いたしました。これはSDGs（持続可能な開発目標 / Sustainable Development Goals）で掲げられた「2030年までに世界が達成すべき17の目標」のうちの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」にも通じるものです。

当基金ではこれまでに、部活動のない地域や非都市部における吹奏楽団・ジュニアオーケストラの運営や演奏会の実施、病児・障害児を対象とした楽器体験、音楽を通して子どもたちと高齢者が交流する場の提供のほか、ひとり親家庭やさまざまな国籍の子どもたちへの音楽教育等、多種多様な活動を支援し、延べ68の団体に対して計38,050,143円の助成を行いました。

### <採択団体の活動例>



採択事例①  
棕バイオリンクラブ  
「こどものためのバイオリン教室」



採択事例②  
アンサンブル太陽  
「ひな祭りコンサート」での楽器体験



採択事例③  
松江音楽協会  
「わくわく★音楽体験事業」

◆水野 道訓（公益財団法人ソニー音楽財団理事長）コメント

昨年度の採択団体の皆様方には、地域・年齢・国籍・環境や状況を超えて、さまざまな子どもたちに音楽を届ける活動を実施していただいております。子どもを取り巻く社会課題の解決や持続可能な社会の実現のための精力的なご活動の数々に対し、心より敬意を表します。子どもたちへの教育に対する熱い思い、または思い描かれていた活動を実現される機会として、ぜひこの基金をご活用ください。皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

当財団は、1984年の設立以来、「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「10代のためのプレミアム・コンサート」など、未就学児から青少年までを主な対象としたクラシック・コンサートを開催しています。2022年5月に世界最大級のクラシック音楽の祭典「こども音楽フェスティバル」を開催しました。2020年には「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を立ち上げ、新型コロナウイルスの影響を受けている「音楽を通じた教育活動に取り組んでいる団体」「若手演奏家」「音楽に触れる機会を失ってしまった子どもたち」を支援しています。他、YouTubeチャンネル「こどものためのクラシック」や、お子さまとそのご家族が気軽にクラシック音楽を楽しめる無料モバイルアプリの配信等を展開しています。

公益財団法人ソニー音楽財団は、次世代のための教育支援活動および子どもたちの多様な体験機会を提供する取り組みを行い、すべての子どもたちが等しく感性豊かな心を育むことのできる環境づくりに寄与すべく、引き続き活動してまいります。

【ソニー音楽財団 子ども音楽基金 概要】

- (1) 名称：ソニー音楽財団 子ども音楽基金
- (2) 設立年月日：2019年5月22日
- (3) 助成の対象：日本国内の、原則として18歳未満の子どもを対象に、音楽\*を通じた教育活動に取り組んでいる国内の団体およびその活動 \*原則としてクラシック音楽およびそれに準ずるもの
- (4) 選考委員（五十音順）◎=新任委員：
  - 阿部 彩 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科社会福祉学教室 教授  
子ども・若者貧困研究センター長
  - 菊川 穰 一般社団法人エル・システムジャパン 代表理事
  - 志民 一成◎ 文部科学省初等中等教育局教育課程課、文化庁参事官（芸術文化担当）付 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
  - 末富 芳 日本大学文理学部 教授
  - 渡辺 元◎ 公益財団法人助成財団センター 理事  
立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 客員教授

- (5) 助成金額：1 団体につき 10 万円から 300 万円（年度毎）
- (6) 第 4 回（2023 年度）応募期間：2022 年 7月1日（金）から 8月1日（月）17:00 まで
- (7) 応募方法：ウェブサイトより応募書類をダウンロードして応募
- (8) ウェブサイト：<https://www.smf.or.jp/kok/>
- (9) Facebook：<https://www.facebook.com/Kodomo.Ongaku.Kikin/>
- (10) YouTube：[https://www.youtube.com/channel/UCTupSYEH\\_CAGOSFTi4o4uAA/](https://www.youtube.com/channel/UCTupSYEH_CAGOSFTi4o4uAA/)

#### 【財団概要】

- (1) 名称 公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)
- (2) 理事長 水野 道訓
- (3) 設立 1984 年 10 月 2 日
- (4) 所在地 〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル
- (5) URL <https://www.smf.or.jp/>



**阿部 彩（あべ・あや）**

東京都立大学人文社会学部人間社会学科社会福祉学教室 教授  
子ども・若者貧困研究センター長

1999年より国立社会保障・人口問題研究所にて勤務。2015年4月より現職。厚労省社会保障審議会生活保護基準特別部会委員、内閣府男女共同参画会議等の委員を務める。『生活保護の経済分析』（共著、東京大学出版会、2008年）にて第51回日経・経済図書文化賞受賞。研究テーマは、貧困、社会的排除、生活保護制度。著書に『子どもの貧困』『子どもの貧困II』（岩波書店）、『弱者の居場所がない社会』（講談社）、『子どもの貧困と食格差』（共著、大月書店）など多数。



**菊川 穰（きくがわ・ゆたか）**

一般社団法人エル・システムジャパン 代表理事

神戸生まれ。University College London 地理学 BA（1995年）、政策研究学（Institute of Education）MA（1996年）。株式会社社会工学研究所を経て、国連教育科学文化機関南アフリカ事務所、国連児童基金レソト、エリトリア両事務所で、教育・子ども保護・エイズ分野の調整管理業務を担当。2007年から日本ユニセフ協会にて、J8サミット、資金調達業務に従事後、2011年より東日本大震災支援本部チーフコーディネーター。2012年、一般社団法人エル・システムジャパンを設立、代表理事に就任。



**志民 一成（したみ・かずなり） ◎新任**

文部科学省初等中等教育局教育課程課、文化庁参事官（芸術文化担当）付 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官

愛知県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程（音楽教育）修了。静岡大学教授などを経て、2018年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。編著に『音楽を学ぶということーこれから音楽を教える・学ぶ人のためにー』（教育芸術社）など。



**末富 芳（すえとみ・かおり）**

日本大学文理学部 教授

京都大学教育学部卒業、同大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。教育財政学、教育行政学を専門とする。現在、参議院・文教科学調査室客員調査員、内閣府・子供の貧困対策に関する有識者会議構成員および文部科学省・中央教育審議会教育課程部会委員等を務めている。主著に『教育費の政治経済学』『子どもの貧困対策と教育支援ーより良い政策・連携・協働のために』がある。



**渡辺 元（わたなべ・げん） ◎新任**

公益財団法人助成財団センター 理事

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 客員教授

1976 年公益財団法人トヨタ財団へ入職。プログラム・オフィサーを経て、プログラム部長、事務局次長を務める。この間、都留文科大学・非常勤講師、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・特任教授を務める。公益財団法人助成財団センターのプログラム・ディレクター、事務局長を経て、現在は理事（研修・相談事業兼務）を務めるほか、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・客員教授、特定非営利活動法人市民社会創造ファンド副理事長を兼務。